



由利本荘市 社協だより

～ No. 49 (5月15日号) より抜粋～



みらいへ

笑顔溢れる私の地域

～こんな地域になりたいと思うこと～



由利中学校3年生
菊地 優奈

私が住んでいる由利地域の人々は、とても温かく、優しく私たちを見守ってくれています。朝の挨拶に始まり、下校時の挨拶、すれ違ったときの挨拶など、たくさんの人々が声をかけてくれます。お年寄りから子どもまでみんなが仲良く暮らしています。

しかし、最近では、子どもの数が少なくなり、外で元気いっぱい遊ぶ子どもたちの声もあまり聞こえなくなりました。同時に、地域に活気がなくなっており、寂しくなりました。

由利中では、地域の子どものために、ボランティア活動に関われるように、ボランティア活動を行っています。季節毎の様々なイベントの手伝いをしたり、地域の清掃をしたり、一人暮らしのお年寄りに誕生日カードを送ったりしています。地域の方々や施設の方々に「ありがとう」と言われると、とても嬉しく、地域の力になって、地域と一体になれる気がします。また、たくさんの人々が笑顔になつてくれるのが嬉しいです。これからも地域の方々との触れ合いを大切に、コミュニケーションの輪を広げ、笑顔あふれる地域を作りたいと思います。

しかし、地域を笑顔でいっぱいにするには中学生の力だけでは

ことではありません。イベントをするにも、広告を作るにも全て大人の力が必要です。そして、地域一体となつて何かを成し遂げるには、若者だけでなく、お年寄りの方々の参加や協力が必要です。私は、お年寄りの方々から元気になっていくことが大切だと考えます。お年寄りが多いこと、いわゆる「高齢化」をマイナスにとらえず、プラスにとらえることが大切です。由利には素晴らしい歴史や伝統があります。その歴史や伝統を詳しく知っているのはお年寄りです。それを語り継いでいくことが、地域に住む人々みんなの誇りになるのだと思います。誇りが高まれば、地域は自然に元気になっていくのではないのでしょうか。

お年寄りに活躍してもらうために、お年寄りの方々を中心としたイベントを増やしたり、お年寄りからお話を聞く会を開催したりすることも考えられます。私たちの老人施設への訪問やボランティア活動を増やしたりすることもできます。由利中生が、もっと積極的に、もっと心を込めてボランティアに参加して、もっと地域と心からつながってほしいと思います。

自分が生まれ育った地域の活気がなくなってしまうのは、寂しく悲しいことです。みんなが、いつも元気で笑顔いっぱいであってほしいです。この地域が、何年経っても笑顔があふれる地域であるように、心をこめて地域に貢献していきたいと思えます。そして、地域のみなさんの温かさや感謝の心を忘れずに生活していきたいです。